

## 登記原因証明情報兼土地所有権移転登記承諾書

### 1 当事者及び不動産

(1) 当事者 権利者 (甲) 泉南郡熊取町

義務者 (乙)

(2) 不動産の表示 末尾記載のとおり

### 2 登記の原因となる事実又は法律行為

(1) 年 月 日、都市計画法第40条第2項に基づき乙から甲に帰属

(2) よって、本件不動産の所有権は、同日、乙から甲に移転した。

### 3 所有権移転登記承諾

乙は、上記に基づき所有権移転登記が行われることについて、異議なく承諾いたします。

年 月 日

(乙) 住 所

氏 名

印

土地の表示

所 在	地 番	地 目	地 積	m <sup>2</sup>

# 登記原因証明情報兼土地所有権移転登記承諾書

## の記載方法について

登記原因証明情報兼土地所有権移転登記承諾書に関しては、次の点に注意してください。

### 1 用紙の大きさについて

登記原因証明情報兼土地所有権移転登記承諾書の大きさは、前頁（A4縦サイズ）のとおりです。複写等される際は、下の頁数が写らないようにしてください。

### 2 枚数について

登記原因証明情報兼土地所有権移転登記承諾書は、町に帰属する土地の形態（道路、公園、管路敷等）ごとに作成してください。

### 3 記載について

- ① 1 当事者及び不動産の（1）当事者、「義務者（乙）」の欄には、登記事項証明書に基づき、土地の所有者の氏名を正しく記載してください。
- ② 2 登記の原因となる事実又は法律行為の（1）の「日付」の欄は、大阪府広報に記載される開発行為の完了公告の翌日を記載してください。（不明の場合は、記入しないでください。開発事業担当課で記入します。）
- ③ 「日付」の欄は、②の「日付」以降の日になります。（上記同様、空白の場合は、開発事業担当課で記入します。）
- ④ （乙）の「住所」及び「氏名」の欄は、登記事項証明書及び印鑑証明書に基づき、土地の所有者の住所及び氏名を正しく記入してください。法人の場合は、「氏名」の欄には、代表者の役職名及び氏名も記入してください。
- ⑤ 土地の表示の「所在」の欄は、町に帰属する土地の町名（丁目がある場合は、丁目を含む。）又は大字名を記入してください。
- ⑥ 土地の表示の「地番」の欄は、町に帰属する土地の地番を記入してください。
- ⑦ 土地の表示の「地目」及び「地積」の欄は、登記簿に基づき記載してください。
- ⑧ 印鑑は、印鑑証明書と同じ実印（法人にあっては代表者印）を押印してください。